

# 株主のみなさまへ

第65期 中間株主通信 2014年6月1日 ▶ 2014年11月30日



## CONTENTS

P.1 トップインタビュー

P.2 連結財務ハイライト

P.4 トピックス

P.5 財務諸表

P.6 会社情報／株式情報

# トップインタビュー



**3つの事業を通じ、お客様の満足度を高めることで、企業価値のさらなる増大に努めてまいります。**

株主の皆様には、日頃より格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。第65期中間株主通信をお届けするにあたり、日頃のご支援・ご鞭撻に対し、心より御礼申し上げます。今後とも皆様のさらなるご理解とご支援のほど、よろしくお願い申し上げます。

2015年2月

代表取締役社長 **金森 武**

**Q** 当第2四半期の業績について説明をお願いします。

**3事業とも増収増益、前年同期に対し大幅に改善することができました。**

当第2四半期連結累計期間の売上高は262億93百万円（前年同期比117.6%）、経常利益は1億90百万円（前年同期は経常損失1億8百万円）、四半期純利益は1億39百万円（前年同期は四半期純損失88百万円）となりました。消費税率引き上げ後の景気の下振れが懸念されていましたが、各事業の取り組みを通じ3事業とも増収増益を果たし、利益面では前年同期に対し大幅に改善することができました。

**Q** 外商事業の業績、取り組みについて説明をお願いします。

**新規開拓・既存得意先との深耕を進め、着実に営業基盤を拡大しました。**

外商事業では、提案型営業を強化し新規開拓・既存得意先との深耕を進め、売上高は147億64百万円（前年同期比110.5%）となりました。通常の業務用食品に加え、介護食品やハラル食品、非食品など、様々な商材をもとにお客様のお役に立てるようなメニュー提案や情報提供を行い、多様な外食産業に対する新規開拓、既存得意先との取引拡大を進めたことにより、売上高は前年同期比110.5%となり着実に営業基盤を拡大することができました。

利益面については、業務の効率化による人件費の削減や、物流費をはじめとした経費の抑制に努め、利益の改善へとつながりました。

**Q** アミカ事業の業績、出店状況について説明をお願いします。

**お客様に評価いただき既存店舗・新規店舗ともに好調に推移しています。**

アミカ事業では、消費増税後の影響が懸念されていましたが、既存店舗・新規店舗ともに好調な推移を示し、売上高は81億59百万円（前年同期比105.6%）となりました。新規出店については、2014年9月に「豊田店」（愛知県豊田市）、11月に関東地区3店舗目となる「立川店」（東京都立川市）をオープンし、東海地区、関東地区ともに着実に出店を進めました。

アミカの店舗では、ハラール商品の導入や一部の店舗における生鮮野菜の販売など商品ラインナップ

の一層の充実を進めるとともに、近隣飲食店への営業活動、店内でのお客様への情報提供やレシピ紹介など、アミカの特長である豊富な商品知識を活かした接客・販売活動に注力しています。商品・販売促進・サービスそれぞれの面から地域に応じた諸施策に取り組み、それらが奏功し売上高の伸長へとつながりました。

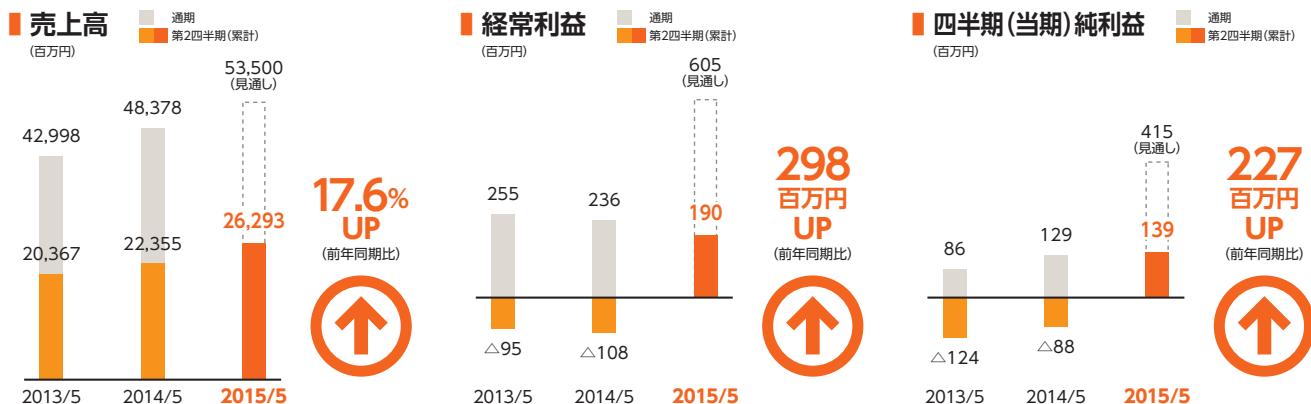
利益面では、電気代の上昇を抑制するため蓋付き冷凍ショーケースの導入を実施したほか、配送コースの見直しによる運搬費の抑制など経費の削減に努め、営業利益は前年同期比119.1%と当社グループの業績向上に貢献しました。

**Q** 水産品事業の業績、今後の展開について説明をお願いします。

**売上・利益ともに大幅改善。今後もさらなる成長をめざします。**

水産品事業では、営業人員を増やし営業体制を

## 連結財務ハイライト



強化するとともに、貝類に加えナマコ、タコなどの水産品ラインナップを充実し、売上高は33億70百万円（前年同期比265.1%）と大幅な増収となりました。ファミリーレストランや回転寿司チェーン、惣菜・弁当等における新たな商品採用の獲得により新規開拓・既存取引の拡大を進めたほか、長年にわたり培った海外生産地との関係性を活用し、日本国内の良質な水産品の魅力を海外市場に届けるなど、国内外への販路拡大を進めたことにより売上高は大きく伸長しました。

利益面においても、売上の増加に伴い売上総利益が増加したことに加え、経費の削減に努め、営業利益は59百万円（前年同期は営業損失40百万円）と大きく改善することができました。

今後においても、新たな商品開発に取り組み、新規開拓・既存取引の拡大に注力していきます。また、外商事業・アミカ事業と連携し、事業間における情

報共有や水産品提案など相乗効果を発揮し、幅広いお客様に当社グループの水産品を提供していきます。

**Q** 通期の業績予想はいかがですか。

**連結売上高535億円、経常利益6億5百万円、増収増益を計画しています。**

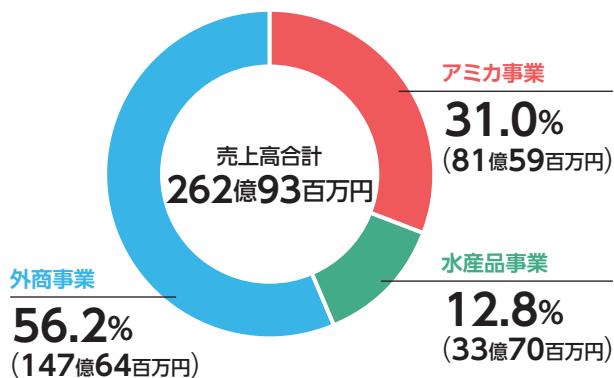
通期の業績については、売上高535億円（前期比110.6%）、営業利益6億10百万円（前期比254.7%）、経常利益6億5百万円（前期比255.3%）、当期純利益4億15百万円（前期比321.3%）を計画しています。

昨今の市場環境は、円安の進行や消費者の節約志向・低価格志向、物価の上昇など厳しい状況が継続していますが、上期に取り組んだ各事業の諸施策を進化し、さらなる事業基盤の拡大をめざしていきます。

売上高については、外商事業における新たな得意先との取引開始、アミカ事業における新規店舗による売上増加や各店舗の来客数増加に向けた商品構成・販売活動の充実化、水産品事業における海外市場を含めた新規・既存取引の拡大などにより増収を見込み、利益面では、全社的に経費の抑制に取り組むことで、通期の計画を着実に実行していきます。

当社グループは、3つの事業を通じ、お客様の満足度を高めることで、企業価値のさらなる増大に努めてまいります。株主の皆様には、一層のご支援とご鞭撻を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

【セグメント別 売上構成比】



# トピックス

# 1

## 愛知県豊田市に アミカ豊田店をオープン

2014年9月、愛知県豊田市に愛知県22店舗目となるアミカ豊田店をオープンしました。豊田市は愛知県北部に位置し、名古屋市に次ぐ人口約40万人の県下最大級の広域都市であります。豊田市内の飲食店様をはじめ、隣接するみよし市、知立市からも多数のお客様にご利用いただいています。



店名：アミカ豊田店  
住所：愛知県豊田市寿町  
7丁目95-1  
営業時間：9:30～20:00  
※店舗により営業時間が異なります。詳しくはHPをご確認ください。

# 2

## 東京都立川市に アミカ立川店をオープン

2014年11月、東京都立川市に関東地区3店舗目となるアミカ立川店をオープンしました。立川市内や隣接する日野市、国立市、国分寺市における飲食店様及び一般のお客様にご満足いただけるようエリアに応じた品揃え、サービスを展開し、地域に密着した店舗運営を進めています。



店名：アミカ立川店  
住所：東京都立川市錦町  
五丁目19-13  
営業時間：9:00～19:30  
※店舗により営業時間が異なります。詳しくはHPをご確認ください。

# 3

## アミカネットショップ Yahoo!店をオープン

2014年11月、アミカネットショップYahoo!店を出店しました。2011年8月に開設したアミカネットショップは、全国のお客様にご好評いただき順調に会員数を増やしてきました。Yahoo!店を通じ、これまで以上に幅広いお客様にアミカの魅力をお伝えしていきたいと考えています。ぜひ一度お立ち寄りください。



アミカネットショップ  
Yahoo!店

<http://store.shopping.yahoo.co.jp/amicashop/>

# 4

## 社会貢献活動 QUOカードを寄付

当社では、アミカ商品券と交換されたQUOカードを東日本大震災や広島土砂災害などの復興支援に役立ててもらうため、アシスト（ジャパン）の会を通じて被災地へ寄付いたしました。アシスト（ジャパン）の会は、白鷗大学教授、東北福祉大学特任教授である福岡政行氏が事務局長を務める慈善団体であり、当社のQUOカードを用い、東北の幼稚園や保育園へおもちゃや絵本を届けるなどご活用いただいています。



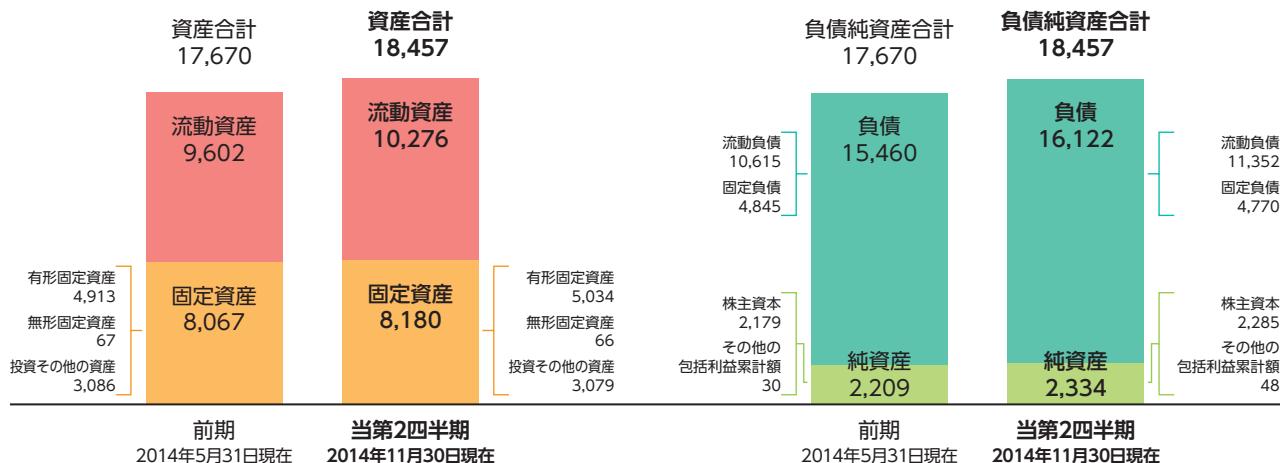
# 財務諸表

詳細情報は

<http://www.oomitsu.com/ir/>

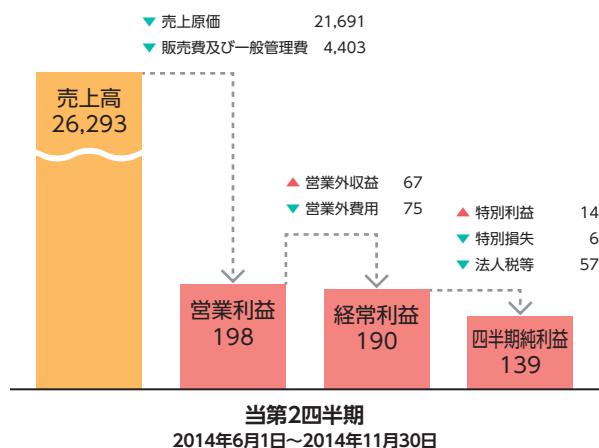
## 連結貸借対照表の概要

(百万円)



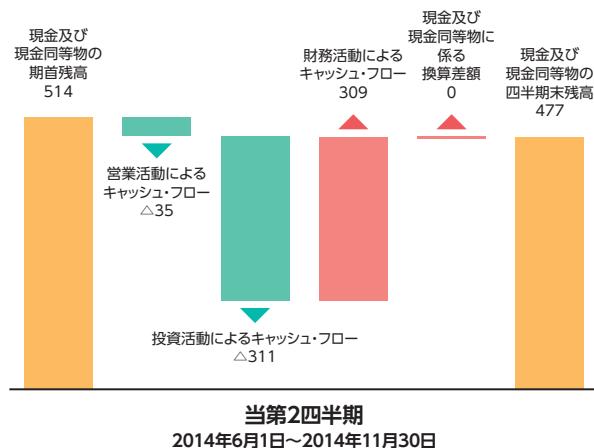
## 連結損益計算書の概要

(百万円)



## 連結キャッシュ・フロー計算書の概要

(百万円)



# 会社情報 / 株式情報

## 会社概要

2014年11月30日現在

商号	株式会社大光
本社所在地	岐阜県大垣市浅草二丁目66番地
創業	1948年(昭和23年)6月
設立	1950年(昭和25年)12月
資本金	4億7,503万円
事業内容	食品卸売業及び食品小売業
連結従業員数	850名(内パート・アルバイト389名)
子会社	株式会社マリンデリカ

## 株式の状況

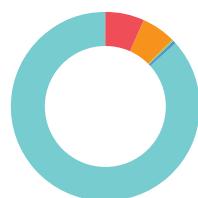
発行可能株式総数	15,360,000株
発行済株式の総数	6,021,600株(自己株式を含む)
株主数	8,493名(自己株式を含む)

### 大株主

株主名	持株数(株)	持株比率(%)
金森 武	1,368,000	23.10
金森 久	594,000	10.03
大光従業員持株会	440,300	7.43
金森 智	360,000	6.07
株式会社大垣共立銀行	290,000	4.89
倭 雅美	146,000	2.46
株式会社トーカン	120,000	2.02
川崎 光義	90,000	1.51
株式会社十六銀行	80,000	1.35
大光取引先持株会	65,500	1.10

(注) 1. 当社は、自己株式100,004株を保有しておりますが、上記大株主から除いております。  
2. 持株比率については、自己株式を控除して算出しております。

## 所有者別株式分布状況



	株式数(千株)	株主数(名)
金融機関	410	4
その他国内法人	356	68
外国人	1	12
証券会社	2	7
個人・その他	5,250	8,402

(注) 自己株式は、個人・その他に含めております。

## 役員

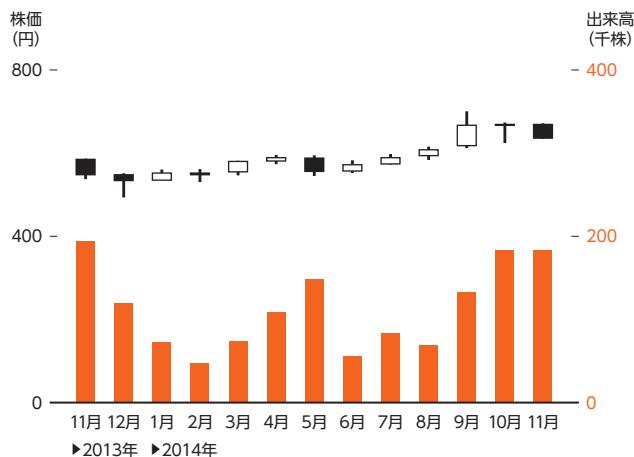
2014年11月30日現在

代表取締役社長	金森 武	取締役	藤澤 浩
専務取締役	倭 雅美	取締役	高橋 章夫
専務取締役	金森 久	取締役	小林 秀幸
常務取締役	秋山 大介	常勤監査役	今井 敦司
常務取締役	伊藤 光	監査役	吉村 有人
		監査役	前川 弘美

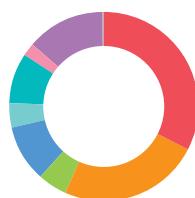
(注) 監査役 吉村有人氏及び前川弘美氏は、社外監査役であります。

2014年11月30日現在

## 株価チャート



## 所有株式数別株式分布状況



	株式数(千株)	株主数(名)
50万株以上	1,962	2
10万株以上50万株未満	1,456	6
5万株以上10万株未満	295	4
1万株以上5万株未満	599	29
5千株以上1万株未満	239	36
1千株以上5千株未満	529	382
5百株以上1千株未満	128	236
1百株以上5百株未満	809	7,638
1百株未満	0.6	160

## 株主メモ

事業年度 毎年6月1日から翌年5月31日まで

定時株主総会 毎年8月

基準日 定時株主総会の基準日 毎年5月31日  
期末配当金の基準日 毎年5月31日

株主名簿管理人 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号  
三井住友信託銀行株式会社

郵便物送付先 〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号  
(電話照会先) 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部  
電話番号0120-782-031(フリーダイヤル)

### 【住所変更、単元未満株式の買取等のお申出先について】

株主様の口座のある証券会社にお申出ください。

### 【未払配当金のお支払いについて】

株主名簿管理人である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。

## ホームページのご案内

当社ホームページでは、最新のニュースや店舗情報など、当社をご理解いただくための様々な情報を提供しております。



IR情報を  
クリック

IR情報ページ



TOPページ

<http://www.oomitsu.com>

## 株主優待制度のご案内

当社は、株主の皆様の日頃のご支援に感謝するとともに、当社株式への投資の魅力を高め、中長期的に保有していただける株主様の増加を図ること、ならびに株主優待制度を通じた当社事業への理解促進を図ることを目的として株主優待制度を設けております。



当社から株主様へQUOカードをお送りします。当社からお送りするQUOカードを未使用の状態でご来店された株主様には、QUOカードを倍額の「アマカ商品券」に交換させていただきます。

### 1 対象株主様

毎年5月末日現在及び11月末日現在の当社株主名簿に記録された1単元(100株)以上保有の株主様を対象といたします。(それぞれ8月下旬、翌年2月中に発送予定)

### 2 優待の内容

所有株式数	優待内容
100株以上500株未満	▶ QUOカード500円分またはアマカ商品券1,000円分
500株以上1,000株未満	▶ QUOカード1,000円分またはアマカ商品券2,000円分
1,000株以上	▶ QUOカード2,000円分またはアマカ商品券4,000円分